

Sexual Harassment

セクシュアル・ハラスメントとは…

相手方の意に反する性的な発言や行為を意味します。本人にそのつもりがなくても受ける側にある種の影響が伴えば、セクシュアル・ハラスメントとみなされます。

セクシュアル・ハラスメントには2つのタイプがあります。

地位利用型・対価型

地位や立場を利用して、利益または不利益を条件に、性的な誘いを行うこと。

環境型

性的な含意のある言動により、不快感や精神的な苦痛を与えること。

たとえば

- 異性との交際について執拗に聞かれた。
- 不快な性的冗談を言われた。
- 食事やデートに誘われ、断ると評価に影響するようなことを言われた。
- しつこく追い回されたり、メールを送られたりして交際を強要された。

Academic Harassment

アカデミック・ハラスメントとは…

教育・研究環境における、優越的な地位を利用した不適切な言動によるハラスメント行為のことです。大学では「支配従属関係」「相互不干渉」によって、研究職に特有の閉鎖的な環境があり、外部からは見えにくくなっています。

たとえば

- 教育的指導を正当な理由なく拒否されたり、放置された。
- 常識的に不可能な課題や、限度を超えた努力を要求された。
- 進学や就職、昇格などに不当な介入をされたり、影響を及ぼすような発言をされた。

Power Harassment

パワー・ハラスメントとは…

職場環境における、上位者からの嫌がらせのことで、組織や上司が職務上の権限を超えて、下位者に対して継続的に有形・無形の圧力をかけることです。一方で職務上の指導を行うことは上位者・管理職の仕事でもあり「適正な範囲」での言動が求められます。

たとえば

- 不可能な業務の成果を日常的に要求されたり、休日の作業を強要された。
- 「無能」とか「やめてしまえ」といった人格を否定した発言で、精神的に追い詰められた。
- 人事評価の権限があることを誇示して、圧力をかけられた。

！ 当事者にならないように留意しましょう

相手がどう感じているかに留意しましょう。ハラスメントのポイントは、本人の意図にかかわらず、相手がある種の影響を受けるような言葉や行動でその人格を傷つけることにあります。このことをまず認識しましょう。

ハラスメントは、社会的・文化的・宗教的背景や意識の違いなどにより発生する場合もあります。指導者や管理者には、言動に細心の注意を払うことが求められます。

学生間にあっても起こり得ると考え、常に相手の気持ちになって考える思いやりの精神が大切です。Line等のSNS上で中傷することやストーカー行為もハラスメントになりますので注意しましょう。

基本は、

率直なコミュニケーションで

信頼関係を築くことです。

もし、あなた自身がハラスメントや不愉快な行為を受けていると感じたら…

- 意思を言葉や態度で伝えましょう。
- 日時・場所・行為の内容・そこに居合わせた人などについて、記録を残しておきましょう。



- ひとりで悩まず、家族や友人、大学の相談員に相談しましょう。
- 相談員は、プライバシーを保護し、2次的被害が発生しないよう注意を払いますので、安心して相談してください。



- ハラスメント防止委員会が問題解決の方法を検討し、実施します。
- 必要に応じて調査委員会を設け、適正・公正な解決策をはかります。



- 問題が確認された場合には、学則や就業規則による懲戒の対象となります。
- 被害者に対しては、結果を報告し、できる限りの救済をはかります。